



泌尿器科学講座の共同研究成果に基づく特許取得について

当講座は、5-アミノレブリン酸 (5-aminolevulinic acid (ALA)) に着目し、泌尿器科領域における ALA の応用に取り組んでおり、具体的には、光線力学技術に基づくがんの診断や治療に関する研究、抗がん剤の副作用の予防や治療に関する研究を共同研究先と実施しています。これまでに得た研究成果は下記の通り特許が登録されております。

【特許番号】	特許第 5818906 号
【発明の名称】	抗ガン剤の副作用の予防剤及び/ 又は治療剤
【特許権者】	国立大学法人高知大学、SBI ファーマ株式会社

抗がん剤治療は、手術、放射線療法と並ぶがんの三大治療法の一つですが、抗がん剤はしばしば臓器障害等の重い副作用を引き起こすため、これら副作用の予防剤や治療剤の開発が医師や患者から切望されております。本特許は、ALA が抗がん剤の副作用の予防や治療に有用である可能性を見出したことを端緒として出願していたものです。

(※)5-アミノレブリン酸(ALA)とは:体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸。ヘムやシクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与する機能分子の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALA は、焼酎粕や赤ワイン、高麗人参等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

以上